

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第18回）

1. 日 時

令和4年7月21日（木）15時20分から16時50分まで

2. 場 所

南丹市文化会館 アスエルそのべ 3階大研修室

3. 出席者

委員19名（うち代理3名）
（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

（1）報告事項

報告第1号 令和3年度事業報告

報告第2号 令和3年度収支決算

（2）協議事項

協議第1号 令和4年度収支予算（案）

⇒ 承認

協議第2号 令和4年度事業計画（案）

⇒ 承認

6. 主な意見・回答

〈報告第1号：令和3年度事業報告について〉

○ナンバリングを進めていくことはよいが、ナンバリングはあくまで案内をしやすい
するものであり、どのような形で表示をしていくかが重要であるので、今後、取り
組む際に意識して欲しい。

〈報告第2号：令和3年度収支決算について〉

○特に意見なし。

〈協議第1号：令和4年度収支予算（案）について〉

○協議会予算では、会議開催費用の6万円のみ計上されており、本当にこれで事業が
行えるのか疑問である。各自治体で予算をとるなどを想定しているのか。

（回答）協議会の予算としては、確かに協議会開催経費のみを計上しているが、事業を
実施するにあたっては、各自治体で予算をつけて実施することを想定している。

〈協議第2号：令和4年度事業計画（案）について〉

- 案内表示の表記を統一する（どの時刻表でも縦軸、横軸の内容同様にする等）ことで、事業者が異なっても分かりやすい案内にする必要がある。
- 園部駅で掲載を始めたバス乗り場案内のポスターのように、できるところから着実に1個でも、2個でもよくしていけばよい。
- 「森の京都『おでかけ』システム」という名前のもとにあるこの地域のいろんな公共交通が使いやすく分け隔てなく使えるといこうを示さなければならない。各駅に「森の京都『おでかけ』システム」とはどういうもので、ここからだったら、何の交通がでているのか、どんな人が来ても、この地域をそういうとことかと思っただけのようにしていく必要がある。
- 既存のものをどうやって魅力的にするかとか、わかりやすくするかを考えて欲しい。

〈その他：意見交換・まとめ〉

- 園部以北の電車と公共交通機関を利用する人が増やすには、地域でのイベントが重要。観光に誘致し丹波地方のことをよく知ってもらうことで、活性化に繋げてほしい。
- ICカード（ICOCA）を利用できる駅が拡大されるとありがたい。
- もう一度計画を見直して、5年間何を実施していくのかを確認しながら進めていただきたい。取り組んだ結果、公共交通の利用が増えることが最終目標であり、そのためにどうしたらいいかは計画に書いてあることになっているので、是非、計画をもとに取り組んでいただきたい。